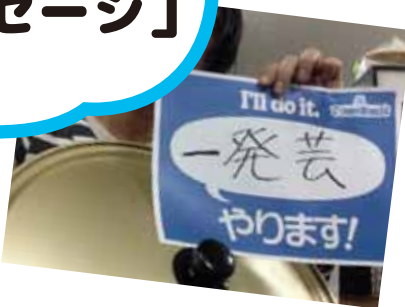


COMING KOBÉ 19

今年も「できますメッセージ」 やります！

クイズ：かつて、これ→
を宣言してくれたのは
誰だったでしょう！？
(こたえは次ページ)



ぼくが、私が、キミが、オレが… だれかのために、できること！ 恒例企画：「できますメッセージ」ご参加のお願い（ご案内）

今年もカミコベにご参加、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。
カミコベのコンセプトゾーン『減災ヴィレッジ』から
関係者のみなさまに、「できますメッセージ」企画をお知らせします。

あなたの「できます！」「やります！」のメッセージを
フリップに書き、写メを撮って送ってください！
出演者、関係スタッフのどなたでも参加いただけます！

意識上げて
いこうぜ！

step 1 フリップに「できますメッセージ」の
書き込みをお願いします！

4パターンフリップ用データがあります。
好きなものをA4サイズ程度でプリントアウトし、
メッセージ（およびサイン）を記入してください。
…ここで示していただきたいのは、

「誰かのためにあなたができること、やろうとしていること」

です。これを表明していただく企画です。

内容は、「音楽関係」でも「それ以外の特技など」でも結構です。

・例：「お料理」、「トレーラートラックの運転」、「子育て支援」など。

また、災害時・非常時にも役立つ「心肺蘇生術」、「〇〇語の通訳」などでも。

・公序良俗に反する場合、使わせていただけないのは残念ですので、
ぎりぎりのラインまででの工夫をお願いします。

※大きめ、太め＝太いマーカーなどでお願いします。

※吹き出しの周辺にサインも添えてください！

※staffの方は、最下の欄にもぜひ記入ください！

name = お名前 / group = 所属 / part = カミコベでの役割、です！

実施の意図について、
コンセプトシートもご覧ください。

step 2 書いたメッセージを持って、写真を撮り、
メールでお送りください！

※添付のサンプル画像を参考に、お顔からフリップまでが写った状態をお願いします。

※画像はある程度大きめでお願いします。スマホ撮影なら概ね大丈夫です。

※厚かましいお願いですが、素敵な表情をお願いします。

※メールに必要情報を添えてください！

- ・おなまえ
- ・所属（バンド名・団体名等）
- ・今年のカミングコウベでの役割
- ・必要に応じた補足説明

第一次の締切を5月5日とさせていただきます。

写真の送り先・お問い合わせ：

CK実行委員会 減災ヴィレッジ「できますメッセージ」担当：

広瀬 知美（株式会社パインフィールズ）

メールアドレス：hirose@pinefields.jp

まで。ご協力のほどお願いします！

～いただいた写真は、以下の用途で使わせていただきます。ご承諾ください。

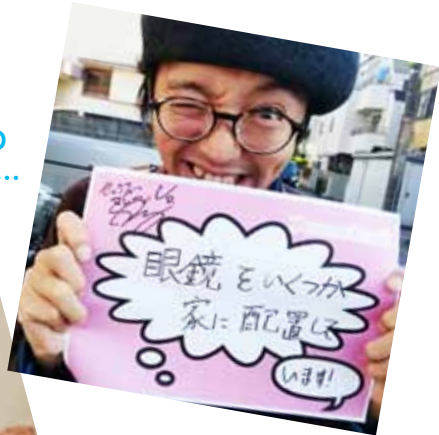
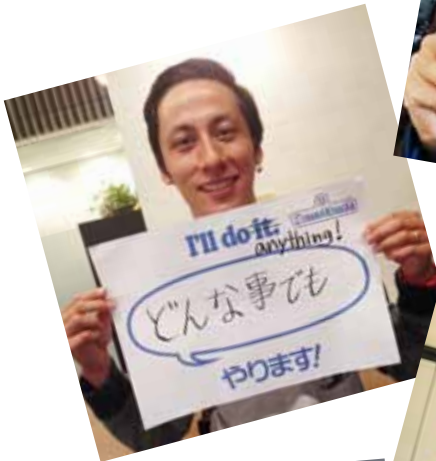
- ・プリントし、カミコベ『減災ヴィレッジ・ひとぼうステージ』で展示・活用させていただきます。
- ・関連のTwitter、Instagram、ウェブサイトなどでも展開させていただきます。
- ・報告書で使用させていただく場合があります。

(※CK19終了後、防災・減災を伝える関連企画等で、主催者側で活用させていただく場合は、あらためてご連絡差し上げます。)

COMING KOBÉ 19

…なぜやるの？ 「できますメッセージ」

ご参考に！
カミコベ・アーティストの
これまでのメッセージから…



クイズのこたえ：
2014年の松原裕さん
でした！

「できます！ やります！ メッセージ」の 意図・目指すこと CONCEPT SHEET

大地震などの非常時には、誰もが**助ける・助けられる**立場になる可能性があります。

非常時のカオスのその時、必要としている人に、自分のスキルを効率よく提供し、助け合うためには、まず「**誰にどんなスキルがあるかわかること**」が必要です。日頃から「誰かのために自分にできること」を表明しておくことは、普段の暮らしにはもちろんですが、非常時にもきつと役立つことでしょう。

…このメッセージ企画はそんな、**減災のアイデア**なんです！

出演者のみなさま・カミコベを支える仲間たちから CK19 ご来場のみなさんに向けて、そのお手本を示していただけたら大変うれしく思います！

発災直後から復旧に渡るまでの時間、被災した地域では内外の人同士が交わり、さまざまな支え合いが生じます。大勢で行う力仕事もあれば、被災者の個別の事情・状況に沿ったニーズに細やかに対応すべきこともあります。そんなとき、何か自分が好きで得意なことで誰かの役に立てるかもしれません。不慣れで自信がないことよりも、**自分でも何かできるんだ**という達成感も得られるかもしれません。

また、まず、**自分の命を守りぬくことこそ、助け合いの大切な一手**です。自分が助けられる立場にならないことで、別の人を救われる可能性を高められます。だから、自分のためのやること・できることが、誰かのために役立つことだってあるんです。一見、自己満足なメッセージでも、表明していただく価値はきっとある！と思っています。

今年もみなさんの「できますメッセージ」でみなさんで**コミュニケーション**して、**チャリティーライブフェス・カミコベ**をより盛り上げていきましょう！

1995.1.17 阪神・淡路大震災からの「恩返し」で始まったカミコベですが、その後の新たな被災地発生を受け、「減災ヴィレッジ」が生まれ、被災地支援のアクション、そしていざという時がもした来た時より前に、誰もが日頃から減災を進めるためのアクションへと発展してきました。今年のカミコベも、来場するみなさんでその想いを共有できれば幸いです。(減災ヴィレッジ・ひとぼうステージ STAFF 平林)